

科名 血液内科
 対象疾患名 ホジキンリンパ腫
 プロトコール名 A+AVD療法

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	・・・	15	・・・	28
1	点滴注 (CV)	メイン	生理食塩液	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓		↓		
2	点滴注 (CV)	側管	グラニセロン [®] バッグ デキサート注	1mg 6.6mg	30分かけて	↓		↓		
3	点滴注 (CV)	側管	ドキシソルピシン 生理食塩液	25mg/m ² 100mL	30分かけて 壊死性抗癌剤	↓		↓		
4	点滴注 (CV)	側管	エクザール注 生理食塩液	6mg/m ² 100mL	30分かけて 壊死性抗癌剤 フィルター不可	↓		↓		
5	点滴注 (CV)	側管	ダカルバジン 注射用水 5%ブドウ糖液	375mg/m ² 1vに付 10mL 250mL	60~90分かけて 溶解後要遮光	↓		↓		
6	点滴注 (CV)	側管	アドセトリス 注射用水 生食	1.2mg/kg 1vに付 10.5mL 100mL	30分かけて AVD終了後1時間以内に 投与開始 アドセトリス投与30分前に前処置内服	↓		↓		

★1クール=28日、最大6クールまで

~MEMO~

- ・ 催吐レベル3(30%以上90%未満)
 - ・ 最大6クールまで
 - ・ ダカルバジンは100mgにつき注射用水10mL加えて溶解する。溶解後は点滴経路を遮光し(ルートも)、速やかに使用する。
(光による分解物質が血管痛を起こすため)
 - ・ ドキシソルピシンの総投与量は500mg/m²以下
 - ・ エクザールはフィルター使用不可
- 〈アドセトリス〉
 Gr2の末梢神経障害発現時の場合は休業
 1vあたり 10.5mLの注射用水で溶かす
 注射用水で希釈後、必要量を抜き取り、最終濃度が0.4-1.2mg/mLになるように希釈すること。
 調製後の溶液は30分以上かけて投与する。急速投与は行わないこと。
 投与30分前に、前処置としてアセトアミノフェン、ホララミンを内服し、インフュージョンリアクションに注意する。
 初回は入院での実施が望ましい。
 添付文書記載されている3週毎の投与間隔と比較し、2週間毎の短縮期間での投与となるため、1.2mg/kgの減量対応とする。